

**WideAngle**

**OsecT（オーセクト） サービス仕様書**

**バージョン 3.10**

**2024 年 12 月 25 日**

**NTT コミュニケーションズ株式会社**

## 目次

<b>1. はじめに</b>	<b>3</b>
1.1. 本書について	3
1.2. 関連文書	3
<b>2. サービス概要</b>	<b>5</b>
<b>3. サービス仕様</b>	<b>6</b>
3.1. サービス構成	6
3.2. 提供区分	7
3.3. 提供メニュー	8
3.4. 提供条件	8
3.5. 提供機能	11
3.6. ユーザーデータの保存・バックアップ	17
3.7. 機器諸元	17
3.8. 提供地域	17
<b>4. 料金・工事費仕様</b>	<b>18</b>
<b>5. お客さま前提条件</b>	<b>19</b>
5.1. お申し込み	19
5.2. 標準開通日	20
5.3. 開通案内・配布同梱物	21
5.4. ご利用開始までの流れ	22
5.5. サポートデスク	23
5.6. 故障通知	23
5.7. ハードウェア故障時の対応	24
5.8. メンテナンス	25
5.9. 請求方法	26
<b>6. 重要事項・留意事項</b>	<b>27</b>
6.1. 重要説明事項	27
6.2. 留意事項	29
<b>改訂履歴</b>	<b>31</b>

記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。

## 1. はじめに

### 1.1. 本書について

WideAngleはNTTコミュニケーションズ（略称：NTT Com）が提供する総合リスク マネジメント サービスのブランドです。

WideAngle サービス（略称：WideAngle）では、セキュリティリスクを可視化し、継続的に管理できる体制を構築、企業のリスクマネジメントにおける現状と課題を抽出し解決に導くソリューションをセキュリティ専門家の有する高度なナレッジやテクノロジーにより、コンサルティング、インシデント レスポンス、脆弱性診断および脆弱性マネジメントといったカテゴリーでお客さまに提供します。

OT（Operational Technology）領域でのネットワーク利活用の拡大と共に、外部ネットワークとつながる産業用制御システムに対するサイバー攻撃のリスクが増大しており、OT セキュリティ対策の重要性も高まっています。

WideAngle OsecT（以下、OsecT といいます）は自社工場をお持ちの企業様向けに、業務面/価格面それぞれにおける導入障壁を可能な限り低くした、セキュリティリスクの可視化サービスです。

本書は、OsecTのサービス提供機能、利用条件、および注意事項などについて記述したものです。機能名や画面、メール文面は、予告なく変更される場合があります。

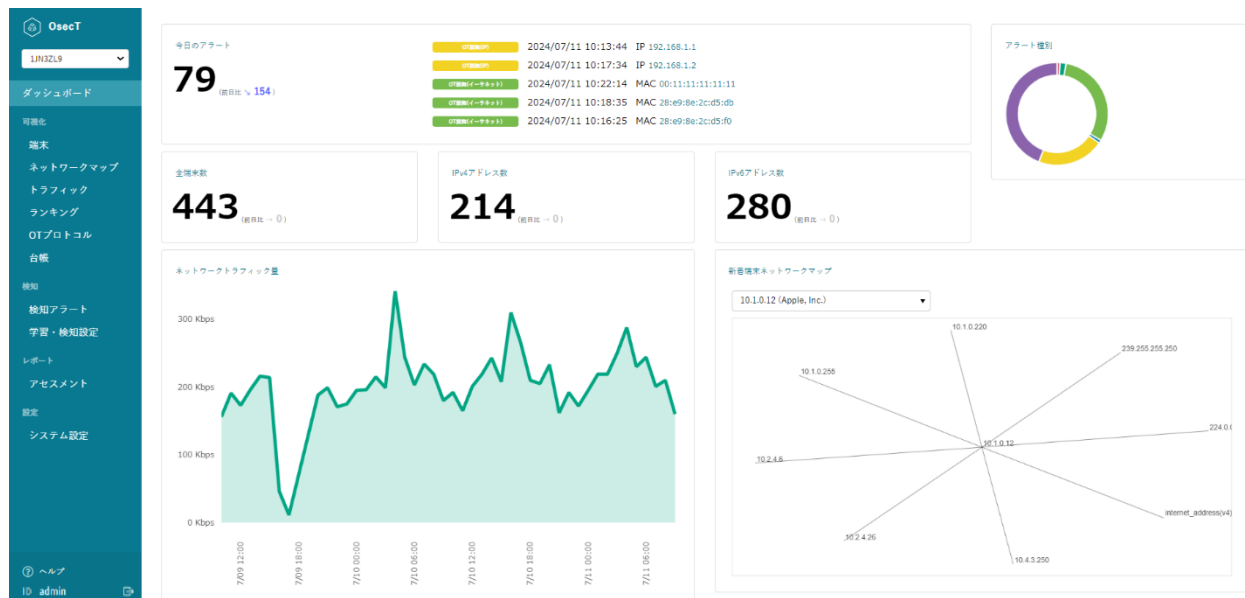
### 1.2. 関連文書

文書名	説明
OsecT_ サービス仕様書_WideAngle	本書。 サービスの概要、仕様、お客さま事前同意・制限事項を記載しており、お申し込み時に利用規約と合わせて提示する文書です。
WideAngle OsecT 利用規約	本サービスをお申し込みいただく契約条件を定めたお客さま向けのサービス利用規約です。
WideAngle_OsecT_新設申込書	本サービスのお客さま向け申込書です。
WideAngle_OsecT_変更申込書	
WideAngle_OsecT_廃止申込書	
WideAngle_OsecT_簡易変更申込書	

OsecT_ ユーザーガイド_WideAngle	本サービスの Web ポータルの操作方法をご案内する文書です。
OsecT_トラブルシューティングガイド_WideAngle	本サービスをご使用中に、トラブルと思われることが生じた場合の原因及び対処方法について記載した文書です。
OsecT_センサー設置手順書_WideAngle	本サービスで使用する OsecT センサー端末の設置手順について記載した文書です。
OsecT_センサー撤去手順書_WideAngle	本サービスで使用する OsecT センサー端末の撤去手順について記載した文書です。

## 2. サービス概要

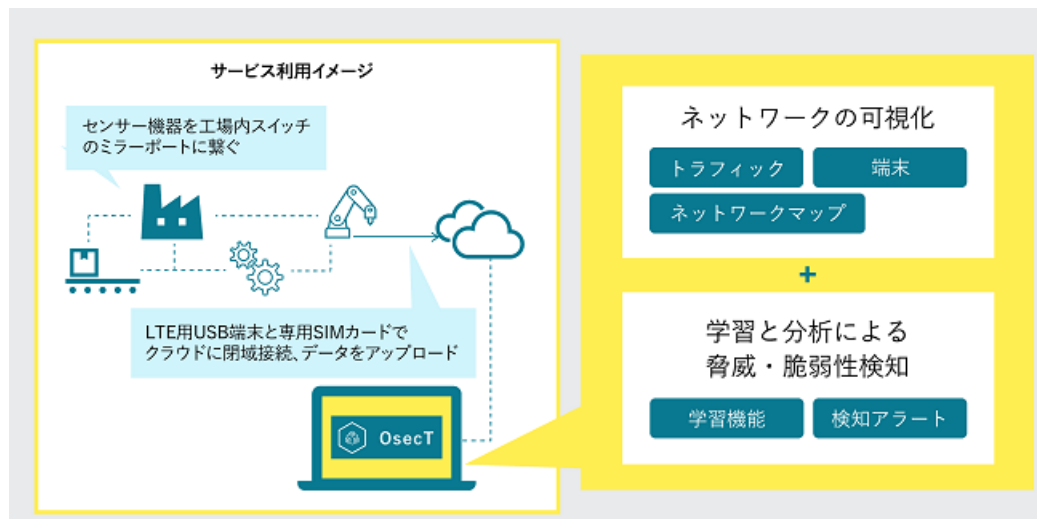
- 自社工場をお持ちの企業さま向けのセキュリティリスクの可視化サービスです。
- 多様化する工場システムのセキュリティ脅威に対して、ネットワークの可視化 と 脅威・脆弱性検知を実施することができ、早期にリスク感知できる状態を作り、工場停止による損失を未然に防ぐことができます。
- 生産現場の業務を妨げることなくセキュリティ対策を最適化し、可視化された情報を業務効率改善に活用することも可能です。
- お客さま環境で流れる通信を専用のセンサー端末が取得し、そのパケット情報の一部を NTT コミュニケーションズが管理するクラウド環境へアップロードすることで、その解析結果を Web ポータルを通じてリアルタイムで確認することが可能となります。



## 3. サービス仕様

### 3.1. サービス構成

- 本サービスではお申し込み時に指定いただいたお客さま住所宛にサービス提供に必要な機器を送付します。
- お客さま拠点にて、OsecT センサー端末を工場内スイッチのミラーポートに繋ぐことで、工場内のネットワーク通信情報（パケット）を取得します。
- OsecT センサー端末に LTE 用 USB 端末と専用 SIM カードを接続すると、モバイルネットワークにて NTT コミュニケーションズが提供するクラウド環境への閉域接続が可能となり、OsecT センサー端末が取得したパケットから分析に必要な最小限のデータのみを取り出し、アップロードを行います。アップロードされたデータはクラウド環境で分析され、お客さまは本サービスが提供する Web ポータルにインターネットからアクセスし、ネットワークの可視化情報や脅威・脆弱性の検知状況を確認することができます。
- OsecT センサー端末のアップデートやシグネチャーの更新は NTT コミュニケーションズにて、遠隔から実施します。お客さまによる対応は不要です。



#### 【各コンポーネントの説明】

- **OsecT センサー端末（以下、OsecT センサーといいます）**  
お客さま拠点のネットワーク情報をミラーパケットによりキャプチャ・解析して、解析結果のログをセンサーデータとしてアップロードします。

- LTE 用 USB 端末（以下、USB ドングルといいます）**

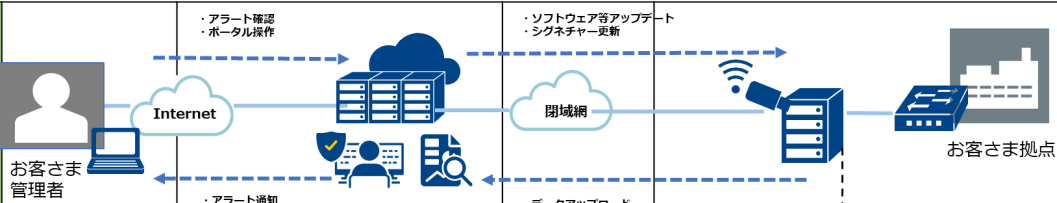
OsecT センサーが取得したデータを閉域網でアップロードするために利用します。OsecT センサーの USB 接続口に接続して使用します。
- 専用 SIM カード（以下、SIM カードといいます）**

OsecT センサーが取得したデータを閉域網でアップロードするために利用します。USB ドングルに取り付けて使用します。
- Web ポータル**

インターネットからアクセスできる画面にて、OsecT センサーが取得したお客さま拠点ネットワークの可視化情報や検知アラートを確認することができます。

### 3.2. 提供区分

- 当社より送付するサービス提供に必要な機器は、お客さまにて設置を行っていただきます。なお、OsecT センサーの接続に利用する LAN ケーブルはお客さまにてご用意いただきます。
- Web ポータルにアクセスするためのインターネット環境、アラート通知を受け取るためのメール受信環境はお客さまにてご用意いただきます。

接続構成		
構成品		<ul style="list-style-type: none"> <li>Webブラウザ</li> <li>インターネット接続</li> <li>認証機能</li> <li>Webポータル</li> <li>閉域網接続</li> <li>OsecTセンサー</li> <li>USB dongle</li> <li>SIMカード*</li> <li>OsecTセンサーに接続するルータ、スイッチ</li> <li>LANケーブル</li> </ul>
サービス契約区分		WideAngle OsecT
サービス責任区分		NTT コミュニケーションズ
資産区分		NTT コミュニケーションズ
工事区分	開通SO	金沢センタ
	設定/作業	金沢センタ
	問合せ/故障対応	コムエンジ

(\*)SIM カードはサービス提供中においては NTT コミュニケーションズ資産として扱い、廃止後（故障による代替 SIM カードへの交換した場合を含む）はお客さま資産として扱います。

### 3.3. 提供メニュー

本サービスで提供するメニューは以下の通りです。

各機能の詳細については、『3.5. 提供機能』に記載します。

メニュー区分	機能	内容	備考
基本サービス	資産/ネットワーク可視化	ネットワーク機器のミラーポートから取得したパケットに基づき、Web ポータル画面にて様々な角度から通信状況を可視化します。 ・端末 ・ネットワークマップ ・トラフィック ・ランキング ・OT プロトコル ・台帳	
	脅威/脆弱性検知	ネットワーク機器のミラーポートから取得したパケットに基づいて学習を行い、脅威・脆弱性の検知を行います。 ・検知アラート ・学習・検知設定	
	レポート	NW 機器のミラーポートから取得したトラフィックに基づき、可視化した通信状況、検知した脅威・脆弱性の情報をレポート出力します。 ・アセスメント	
	システム設定	インターネットアドレス可視化やデータ削除等の設定、センサーやユーザーの管理や可視化画面のサービス名管理等のシステム設定ができます。 ・設定変更 ・システムログ ・センサー管理 ・ユーザー管理 ・サービス名管理	
	保守	・OsecT センサー保守 ・ソフトウェア保守 ・シグネチャー更新	シグネチャーの更新頻度は 1 日 1 回

### 3.4. 提供条件

#### 3.4.1. サービス提供における基本条件

- 本サービスは SaaS サービスとして提供される Web ポータルと、お客さま環境に設置される OsecT センサー及び、OsecT センサーからデータアップロードを行うための周辺機器、アップロードされたデータを蓄積・分析するための設備によって構成されます。



- お客さま環境に設置される機器類（OsecT センサー、USB ドングル、SIM カード）は、本サービスお申し込み時にいただいたお客さま住所宛に発送され、到着後は原則お客さまにて管理いただく必要があります。
- お客さまがお持ちの端末を OsecT センサーの代わりにお使いいただくことはできません。
- お申し込み後にお送りする開通案内は、メールにてご案内する専用の Web サイトより PDF ファイルをダウンロードいただきます。

### 3.4.2. 導入・開通工程における条件

- お客さまにて OsecT センサーの設置、お客さま環境のネットワーク及び Web ポータルへの接続開通確認作業を実施いただく必要があります。
- OsecT センサーへ接続するルータやスイッチのポートにはポートミラーリングの設定を行っていただき、お客さまにてご用意いただく LAN ケーブルを用いて接続いただきます。
- OsecT センサー、USB ドングル、SIM カードの配送完了後、お客さまにて 5 営業日以内に設置していただく必要があります。
- 当社にて、OsecT センサーがネットワークに接続されたことを確認した後、設定作業を実施します。
- お客さまにて OsecT センサーの設置が完了してから、サービスをご利用いただけるようになるまで時間がかかる場合があります。

### 3.4.3. 分析に関する条件

- OsecT センサーが 1 分ごとに自動取得するパケット（データ）を当社のクラウド環境に取り込むことで、ネットワーク情報の可視化、脅威・脆弱性の検知の各機能をご利用いただけるようになります。
- ネットワーク情報の可視化、脅威・脆弱性検知の対象は日本国内で運用されている制御システム機器に限ります。
- 本サービスでは OsecT センサーへ 1000 台以下の端末が接続され、一般的な OT の通信パターンが行われるネットワークにおける利用を想定しております。トラフィックジェネレータや負荷試験装置などで生成されるパケットやトラフィックの入力は禁止です。1000 台を超える機器の接続や、多くのトラフィックが発生する特殊な通信パターンが行われるネットワークでのご利用の場合、Web ポータルの画面表示速度低下や画面が表示されないといった事象が発生する可能性があります。また、1500 台の端末が接続された時点で Web ポータル側での取り込みを停止します。なお、Web ポータルの画面からデータ削除等を実施していただくことで対処可能です。

- OsecT センサーに流入するトラフィック量が 100Mbps (IP 通信 100Mbps, イーサネット通信 10Mbps) 及びコネクション数 (端末間で確立された TCP/UDP 接続の数) が 2000 件/分を超えた場合、Web ポータルにて一部の通信の情報が可視化されない、脅威・脆弱性を一部検知できないといった事象が発生する可能性があります。
- OsecT センサーから当社のクラウド環境へ送信されるデータ量が、本サービスが想定する通信量 (10GB/月) を超えた場合、通信速度の低下により、Web ポータルにて一部の通信の情報が可視化されない、脅威・脆弱性を一部検知できないといった事象が発生する可能性があります。
- 当該月のデータ通信利用量は Web ポータル画面からご確認ください。データ通信利用量にはお客さま環境からのログアップロード通信のほか、サービス提供上必要となるその他の通信 (ソフトウェアアップデート・シグネチャー更新など) で使用される通信量も含まれます。
- (複数台のセンサーをお申し込みの場合) サービスのご利用開始後に機器類 (OsecT センサー、USB ドングル、SIM カード) の組み合わせは変更できません。お客さまにて変更が行われた場合、変更申込にてセンサーの一部解約を行った際に、契約中のセンサーにおけるサービス提供が停止する可能性があります。

#### 3.4.4. Web ポータル利用に関する条件

- Web ポータルのアクセスはインターネットアクセスが必要となります。お客さまのネットワーク環境にて、サービスに必要なアクセス許可を設定する必要があります。
- Web ポータルのログイン情報は開通案内 (ご利用内容のご案内) にてご案内いたします。ログイン後、お客さまにてユーザーの管理が可能です。ユーザーは最大 5 ID まで作成が可能です。
- Web ポータルへのログイン時には、メールワンタイムパスワードを用いた多要素認証が行われます。
- メールを受信や Web へのアクセスに関わる通信料は別途お客さまご負担となります。
- Web ポータルは、日本語のみでのご提供となります。
- 推奨ブラウザは Google Chrome の最新バージョンとなります。

#### 3.4.5. OsecT センサー監視に関する条件

- Web ポータルのシステム設定機能で選択できる「センサー監視」が有効になっている場合、お客さま環境に設置された該当の OsecT センサーが正常に動作しているか定期的に監視が行われ、機器の故障が発生した際には復旧対応を行います。
- 「センサー監視」の設定は OsecT センサーの移設に伴う電源断や、設置拠点の停電時等を除いて有効とすることを推奨します。
- 「センサー監視」を無効にした状態で継続的にご利用いただいた場合、一部保守サービスの提供が出来ず、機器故障の検知や対応に遅れが発生する可能性があります。

## 3.5. 提供機能

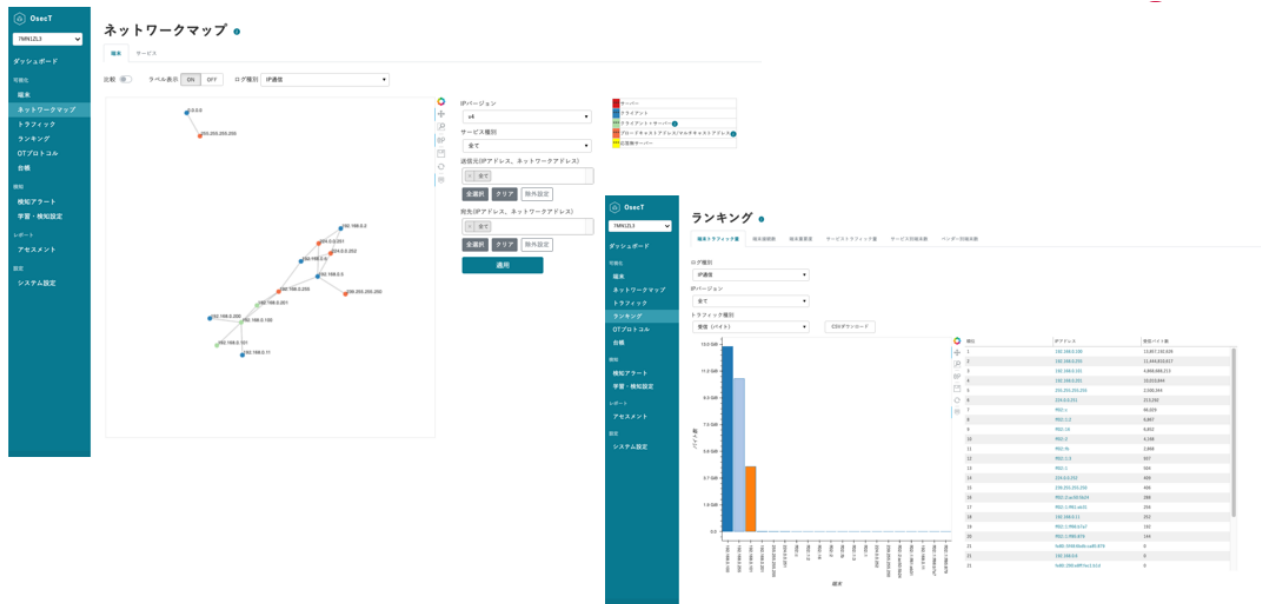
### 3.5.1. 資産/ネットワーク 可視化

- OsecT センサーを設置後、Web ポータルにアクセスすることで、お客さま環境の資産/ネットワーク の可視化された情報を確認できます。
- 利用可能な機能は次の内容です。

機能分類	機能名	詳細説明
1. 端末	1-1. 一覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ネットワーク内の全端末（情報：IP アドレス・MAC アドレス等）を抽出できます。</li> <li>• 端末情報の一覧は CSV ファイル形式でダウンロードできます。</li> <li>• 本一覧をお客さまの管理台帳と突合することで、意図せず接続された端末を発見することが可能です。</li> </ul>
	1-2. 一覧（IP）	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ログ種別（IP 通信・名前解決等）や端末種別（クライアント・サーバー等）で端末（IP アドレス）を探索できます。</li> </ul>
	1-3. 詳細	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 端末毎の通信先情報を把握できます。</li> </ul>
	1-4. ベンダーマトリクス	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 端末の MAC ベンダーを色分けし、縦 16x 横 16 形式で表示することで、ネットワーク全体を俯瞰できます。</li> </ul>
	1-5. OS マトリクス	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 端末の OS を色分けし、縦 16x 横 16 形式で表示することで、ネットワーク全体を俯瞰できます。</li> <li>• OS は端末の送信パケットから推定します。また、推定精度も確認ができます。</li> </ul>
	1-6. 役割マトリクス	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 端末の役割を色分けし、縦 16x 横 16 形式で表示することで、ネットワーク全体を俯瞰できます。</li> <li>• 役割は通信接続の状況から推定します。</li> </ul>
2. ネットワークマップ	2-1. 端末	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ネットワーク内の全端末の通信接続先を接続マップにて確認できます。</li> <li>• 意図せぬ端末同士が通信を行っていないか確認できます。</li> </ul>
	2-2. サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ネットワーク内の各サービスによる通信状況を通信接続マップにて確認できます。</li> <li>• 意図せぬサービスによる通信が発生していないか確認できます。</li> </ul>
3. トラフィック	3-1. トラフィック	<ul style="list-style-type: none"> <li>• トラフィック情報を時系列で表示します。</li> <li>• 端末が感染して異常な通信量でないか確認できます。</li> </ul>
4. ランキング	4-1. 端末トラフィック量	<ul style="list-style-type: none"> <li>• トラフィック量の多い順に端末をランキング表示します。</li> <li>• ランキング順に通信量が妥当な端末か判断する材料にできます。</li> </ul>
	4-2. 端末接続端末数	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 接続端末数の多い順に端末をランキング表示します。</li> <li>• ランキング順に接続数が妥当な端末か判断する材料にできます。</li> </ul>
	4-3. 端末重要度	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 重要度の高い順に端末をランキング表示します。</li> </ul>
	4-4. サービストラフィック量	<ul style="list-style-type: none"> <li>• トラフィック量の多い順にサービスをランキング表示します。</li> </ul>
	4-5. サービス別端末数	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 接続端末数の多い順にサービスの情報がランキング表示されます。</li> </ul>
	4-6. ベンダー別端末数	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 端末数の多い順に MAC ベンダーをランキング表示します。また、各 MAC ベンダー毎の IP アドレスも確認できます。</li> </ul>
5. OT プロトコル	5-1. 一覧（IP）	<ul style="list-style-type: none"> <li>• IP ベースの OT プロトコルの情報（送信元 IP アドレス・宛先 IP アドレス・OT プロトコル等）を抽出できます。</li> </ul>

	5-2.一覧（イーサネット）	<ul style="list-style-type: none"> <li>Non-IP ベースの OT プロトコルの情報（送信元 MAC アドレス・宛先 MAC アドレス・OT プロトコル等）を抽出できます。</li> </ul>
6.台帳	6-1.一覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客さまが管理する資産台帳の情報（IP アドレス、MAC アドレス、ホスト名、設置場所等）をインポートすることができます。</li> <li>インポートした資産台帳の情報を一覧形式で表示します。</li> <li>インポートした資産台帳の編集ができます。</li> <li>インポート可能なファイル形式は CSV ファイルのみで、インポートできる項目、順序などのフォーマットは既定のものから変更できません。</li> </ul>
	6-2.詳細	<ul style="list-style-type: none"> <li>インポートした資産台帳の情報の全項目を端末毎に表示します。</li> </ul>
	6-3.台帳連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の可視化・検知機能にインポートした資産台帳の情報を連携した表示および設定が可能になります。</li> <li>端末一覧：端末毎に資産台帳の有無を表示します。</li> <li>端末詳細：端末情報、通信情報とともに、台帳情報を表示します。</li> <li>ネットワークマップ：マップ上でノードにマウスオーバーした場合に端末情報に加えて台帳情報も表示します。</li> <li>検知アラート：検知アラートに資産台帳の有無を表示します。</li> <li>学習・検知設定：接続端末検知アラートのうち、台帳にない新規端末のみをメール通知する設定ができます。</li> </ul>

## 【資産/ネットワーク 可視化機能イメージ】



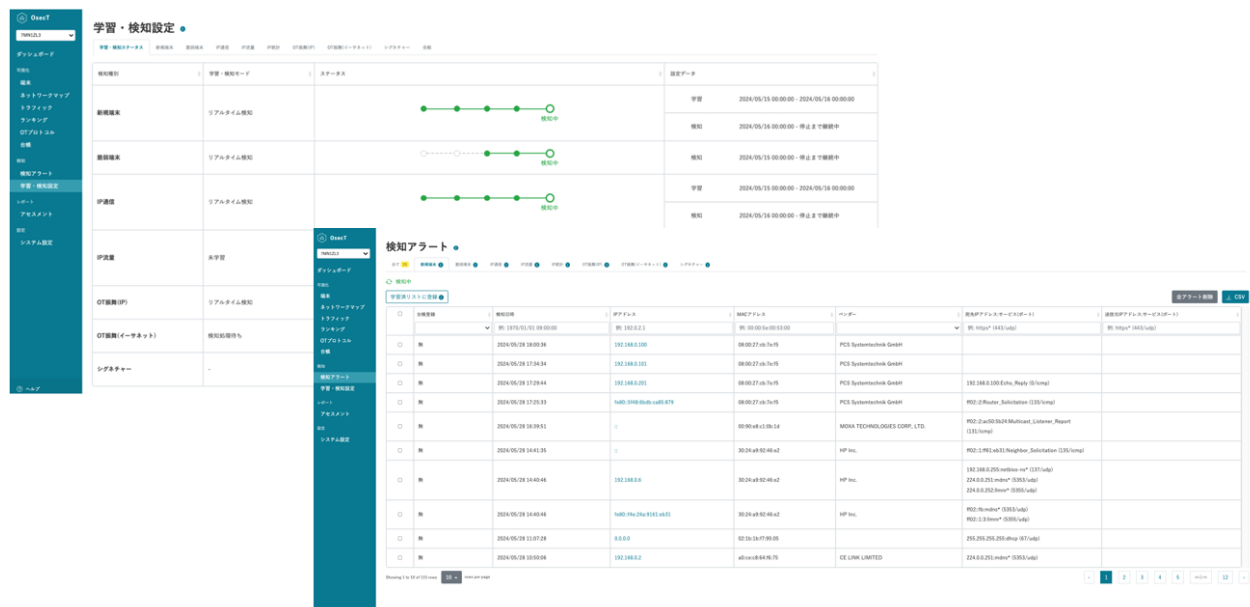
### 3.5.2. 脅威/脆弱性 検知

- お客さま環境における通信状況を学習し、脅威の可能性や脆弱性を検知し、アラート情報として表示します。
- 利用可能な機能は次の内容です。

機能分類	機能名	詳細説明
1.検知アラート	1-1.接続端末	• 接続端末（IP アドレス）を検知・アラート出力します。
	1-2.脆弱端末	• サポートが切れている OS を使用している端末を検知・アラート出力します。
	1-3.IP 通信	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Layer3/4 情報の組合せを正常通信として学習し、検知期間において学習外の通信を検知・アラート出力します。</li> <li>• OT プロトコルの中には、送信元ポート番号が固定で、宛先ポート番号が変化するものが存在します。このようなサービスを識別して、宛先ポート番号を範囲（例：49203-65477）で学習し、送信元ポート番号を固定値で設定できます。</li> </ul>
	1-4.IP 流量	• 端末ペア毎の流量に基づき、曜日や時間帯毎の閾値を自動で算出し、閾値を越えた場合に検知・アラート出力します。
	1-5.IP 統計	• 通信ログから端末単位で 5 分毎に要約統計量を計算し、その要約統計量をもとに端末毎に信頼区間分析と主成分分析によって正常通信を学習し、検知でも同じ要約統計量を使って学習で作成したモデルと比較することで異常検知・アラート出力をします。
	1-6.OT 振舞（IP）	• OT プロトコル情報（送信元 IP アドレス・宛先 IP アドレス・OT プロトコル名・ファンクション）を正常通信として検知除外リストに登録し、検知期間において検知除外リスト外の通信を検知・アラート出力します。
	1-7.OT 振舞（イーサネット）	• OT プロトコル情報（送信元 MAC アドレス・宛先 MAC アドレス・OT プロトコル名・ファンクション）を正常通信として検知除外リストに登録し、検知期間において検知除外リスト外の通信を検知・アラート出力します。
	1-8.シグネチャー	• 既知の攻撃シグネチャーにマッチした通信を検知・アラート出力します。
2.学習・検知設定	2-1.接続端末	• 学習済の端末情報（IP アドレス・MAC アドレス）の一覧情報を確認でき、新規端末の登録や不要情報の削除ができます。
	2-2.脆弱端末	• 不要なアラートを出力しないように、検知除外リストに端末情報を登録できます。
	2-3.IP 通信	• 学習済の IP 通信情報（送信元・宛先 IP アドレス、送信元・宛先ポート番号、プロトコル）の一覧情報を確認でき、新規通信情報の登録・不要情報の削除・学習済リストの修正ができます。
	2-4.IP 流量	• 学習済の端末ペア毎の流量の一覧情報を確認できます。また、検知対象の端末ペアの選択や学習情報の削除ができます。
	2-5.IP 統計	• 端末ごとの学習状況（信頼区間・主成分）を確認できます。また、端末ごとに検知モード（検知しない・検知強/弱）を設定できます。
	2-6.OT 振舞（IP）	• 検知除外リストとして設定した OT プロトコル通信情報（送信元 IP アドレス・宛先 IP アドレス・OT プロトコル・ファンクション）を確認できます。また、新しい OT プロトコル通信情報の追加や検知対象のファンクションの設定ができます。

	2-7.OT 振舞（イーサネット）	<ul style="list-style-type: none"> <li>検知除外リストとして設定した OT プロトコル通信情報（送信元 MAC アドレス・宛先 MAC アドレス・OT プロトコル・ファンクション）を確認できます。また、新しい OT プロトコル通信情報の追加や検知対象のファンクションの設定ができます。</li> </ul>
	2-8.シグネチャー	<ul style="list-style-type: none"> <li>不要なアラートを出力しないように、検知除外リストに送信元 IP アドレスとシグネチャーの組み合わせを登録できます。</li> </ul>
	2-9.学習・検知ステータス	<ul style="list-style-type: none"> <li>各検知機能の学習・検知モード・ステータス・設定データを一覧で確認できます。</li> </ul>
	2-10.AMF-SEC 連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>アライドテレシス社 AMF-SEC との連携に用いるメールアドレスと連携対象とする検知種別を設定できます。</li> </ul>

## 【脅威/脆弱性 検知機能イメージ】



The screenshot displays the OsecT web interface for security management. The left sidebar contains navigation options like 'ホーム', '設定', 'レポート', and 'システム設定'. The main area is titled '学習・検知設定' (Learning/Detection Settings) and includes a table for configuring detection rules. Below this, the '検知アラート' (Detection Alerts) section shows a list of detected threats with columns for detection time, source IP, destination IP, protocol, and alert details. The interface is in Japanese and includes various status indicators and filters.

### 3.5.3.アセスメントレポート

- お客さま環境の可視化された資産/ネットワークの情報、検知した脅威の可能性や脆弱性の情報をレポート出力します。
- 利用可能な機能は次の内容です。

機能分類	機能名	詳細説明
1.レポート	1-1.アセスメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>• OsecT の可視化・検知情報をもとに、OT ネットワークの状態を評価、脅威の可能性や脆弱性に対する改善提案をパワーポイント形式のレポートとして出力します。</li> <li>• レポート対象データを CSV 形式の ZIP ファイルとしてダウンロード出力します。</li> </ul>

### 3.5.4.システム設定

- OsecT ポータルの各種設定の確認・変更ができます。
- 利用可能な機能は次の内容です。

機能分類	機能名	詳細説明
1.システム設定	1-1.設定変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>• OsecT Web ポータルの各種設定を変更することができます。</li> </ul>
	1-2.システムログ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• OsecT センサーからアップロードされたログデータを確認することができます。</li> <li>• 接続端末数が上限に達した場合、データインポートを停止している旨のメッセージが表示されます。</li> </ul>
	1-3.センサー管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>• センサーの一覧を確認することができます。</li> <li>• センサー表示名の変更や、データ通信利用量を確認することができます。</li> <li>• センサー監視に関する通知の設定をすることが可能です。</li> </ul>
	1-4.ユーザー管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>• OsecT Web ポータルにアクセスするユーザーの管理（追加・変更・削除）ができます。</li> <li>• ユーザー管理機能は、管理者権限が付与されているユーザーアカウントのみ利用可能です。</li> </ul>
	1-5.サービス名管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>• TCP/UDP のサービス名の一覧を表示する画面です。</li> <li>• TCP/UDP のポート番号に任意のサービス名を設定することが可能です。</li> </ul>

### 3.5.5.対応 OT プロトコル

- 可視化メニューの OT プロトコル、及び検知メニューの OT 通信に対応する OT プロトコルは以下の通りです。  
CC-Link ファミリー（CC-Link IE Field Basic, CC-Link IE Field, CC-Link IE Control, CC-Link IE TSN・SLMP）



### 3.6. ユーザーデータの保存・バックアップ

OsecT センサーからアップロードされたユーザーデータの保存容量・期間

項目	仕様
容量	119 GB×ご契約台数（ただし、期間を超過したデータは順次削除）
期間	365 日（ただし、容量を超過したデータは順次削除）

ユーザーデータのバックアップ

項目	仕様
対象	ユーザーデータ
方式	IaaS 基盤のスナップショット機能
世代数	1 世代（初回のフルバックアップから 1 日 1 回差分バックアップを実施）
期間	365 日（保存期間に準じる）
間隔	1 日 1 回

### 3.7. 機器諸元

【センサー機能を搭載するハードウェア】

- Dell : Precision3240 Compact CTO BASE を使用

項目	スペック
寸法	高さ:188.1mm*幅:70.2mm*奥行:178.65mm
最小重量	1.71kg
プロセッサ	インテル Xeon W-1250
OS	Ubuntu Server 22.04 LTS
SSD	M.2 256GB PCIe NVMe Class 35 SSD
メモリ	8GB 1X8GB DDR4 2666MHz or 2933MHz (2933MHz requires インテル Core i7 or above) SoDIMM ECC Memory
NIC	内蔵: インテル Ethernet Connection I219-LM 10/100/1000 追加: インテル イーサネット・サーバー・アダプター I210-T1
電源	7.4mm, 240W AC アダプター

### 3.8. 提供地域

- 日本契約を対象とし、お客さまの国内拠点へサービス提供に必要な機器を配送いたします。
- OsecT センサーからのデータアップロードの通信は日本国内でのみ提供されます。

## 4. 料金・工事費仕様

本サービスの料金・工事費は利用規約に記載します。

## 5. お客さま前提条件

### 5.1. お申し込み

#### 5.1.1. 申込方法

- 新設、変更、廃止、簡易変更のお申し込みは、申込内容のパターンによって、申込方法が異なります。
- Web サイトからのお申し込みの場合は、NTT コミュニケーションズの法人向け ICT サービス注文サイト「ICT Business Mall」から注文します。
- 申込書でお申し込みの場合は、当社営業担当または、ドコモビジネスセンターに注文します。

申込パターン	備考	Web サイト (ICT Business Mall)	申込書
新設	お申し込みいただけるセンサー数の上限は 9 台までとなります。	●	●
変更	契約センサー数の増減の変更申込に対応します。	-	●
廃止	契約しているセンサー全ての廃止申込となります。	-	●
簡易変更	契約者情報の変更等に対応します。	-	●

#### 5.1.2. 申込書

- 新設、変更、廃止、簡易変更の申込内容は次の項目とします。

STEP (区分)	申込項目	申込単位	値	新設	変更	廃止	簡易変更
ご契約者情報	お客さま番号 (N 番)	契約	N+数字 9 桁	-	●	●	●
	契約者名	契約	文字列	●	●	●	●
	契約者住所	契約	文字列	●	●	●	●
	契約担当者名	契約	文字列	●	●	●	●
	契約者電話番号	契約	数字、ハイフン要	●	●	●	●
	メールアドレス	契約	文字列	●	●	●	●
	請求書送付先 (会社名/住所/担当者名/電話番号/メールアドレス)	契約	文字列	●	-	-	-
	開通案内送付先 (メールアドレス/PW/宛先)	契約	文字列	●	●	-	-
商品情報	お申込日/ご利用開始希望日	契約	年月日	●	●	●	-
	契約プラン	契約	OsecT 基本プラン	●	-	-	-
	お申込みセンサー台数	台	1~9	●	●	-	-
	管理者メールアドレス	契約	文字列	●	-	-	-
	センサー名 (①~⑨)	契約	文字列	●	●	-	-

	機器送付先 (①～⑨) (住所、宛名)	契約	文字列	●	●	-	-
	契約中のセンサー名	契約	文字列	-	●	-	-
	解約するセンサーのサービスタグ情報	契約	文字列	-	●	-	-
	パートナー用統合管理アカウント適用*	契約	適用/非適用	●			

\*2025 年 1 月以降に運用開始

## 5.2. 標準開通日

- 標準開通日は次の日程です。
- 当社が申込書を受理し、不備が無いことを確認した時点から起算した日数となります。尚、当日 15 時を過ぎた場合は翌営業日受付の扱いとなります。

申込種別	申込項目	標準開通日	納期の条件
新規	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客さま基本情報</li> <li>OsecT センサー台数 (最大 9 台まで)</li> <li>OsecT センサー名、送付先住所</li> </ul>	25 営業日	OsecT センサーの設置はお客さまにて行い、OsecT センサー配送後 5 営業日以内に設置いただけることを前提とします。
変更	センサー台数追加の場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>追加 OsecT センサー数 (既存センサー含めて最大 9 台まで)</li> <li>OsecT センサー名、送付先住所</li> </ul>	25 営業日	OsecT センサーの設置はお客さまにて行い、OsecT センサー配送後 5 営業日以内に設置いただけることを前提とします。
	センサー台数一部解約の場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>解約 OsecT センサー数 (一部解約後は最低 1 台まで)</li> <li>OsecT センサー名、送付先住所</li> </ul>	5 営業日	一部解約した OsecT センサー、SIM カード、USB ドングルはお客さまにて処分していただくことを前提とします。
簡易変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約者住所、連絡先</li> </ul>	5 営業日	
廃止	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客さま基本情報</li> </ul>	5 営業日	廃止した OsecT センサー、SIM カード、USB ドングルはお客さまにて処分していただくことを前提とします。

- サービス開始日は、申込書に記載された開通希望日とします。
- お客さま都合により、OsecT センサー設置期間を過ぎて設置が完了しなかった場合でも、開通希望日をサービス開始日とします。
- ただし、NTT コミュニケーションズ側の責任により機器類の配送遅延および開通試験、工事等に遅れが生じた場合は以下とします。
  - OsecT センサー本体、SIM カード、USB ドングルの全てが、お客さま配送先へ開通希望日の 9 営業日前までに届かなかった場合は、開通希望日 + 配送遅延日数をサービス開通日とします。(ただし、土日祝日となる場合は翌営業日とします。)

- お客さまでの OsecT センサー設置が遅延なく完了後、OsecT 工事、開通試験が開通希望日の 2 営業日前まで完了しなかった場合は、開通希望日 + 開通試験遅延日数をサービス開通日とします。  
(ただし、土日祝日となる場合は翌営業日とします。)

### 5.3. 開通案内・配布同梱物

- 新設申込、変更申込（センサー追加）の場合に開通案内を発行します。
- 廃止申込の場合は開通案内等を発行しません。
- 開通案内は、次の手順でファイルを受領いただきます。
  - ① お客さまへ送信元が“wa-customer@ntt.com” のメールアドレスからメールが届きます。
  - ② お客さまは、メール本文の URL をクリックして、Box サービスの Web サイトへアクセスします。
  - ③ ファイルダウンロードには、申込書に記載のパスワードを入力します。
- 開通案内以外の送付物はそれぞれ郵送にて、お送りします。
- 送付物の一覧は次の通りです。

送付物	プラン	OsecT 基本プラン
開通案内（ご利用内容のご案内）		●
OsecT センサー端末、USB ドングル <sup>1</sup>		●
SIM カード <sup>1</sup>		●

- ご利用内容のご案内の項目は次のものです。

項目	単位	固定値	備考
ご注文内容	契約毎	-	新設/変更
ご利用開始日	契約毎	-	
お客さま番号（N 番）	契約毎	-	N + 数字 9 桁
ご契約者名	契約毎	-	
ご契約プラン	契約毎	OsecT 基本プラン	
お申込みセンサー台数	契約毎	-	1～9
管理者メールアドレス	契約毎	-	
OsecT Web-UI ログイン用 URL	契約毎	-	OsecT ポータルの URL
OsecT Web-UI ログイン ID	契約毎	-	OsecT ポータルの初回ログイン用 ID
OsecT Web-UI パスワード	契約毎	-	OsecT ポータルの初回ログイン用パスワード
お申込みセンサー情報	センサー毎	-	お申込みセンサー台数分

<sup>1</sup> お申し込みいただいたセンサー毎に各送付先にお送りします。それぞれのお届け時期は前後する場合があります。

(センサー名、機器送付先住所、宛名)			新設は最大 9 台、変更は最大 8 台
パートナー用統合管理アカウント適用*	契約毎		適用/非適用
OsecT 操作方法、故障、不具合に関するお問い合わせ	契約毎	WideAngle OsecT サポートデスク TEL/Mail	
申込/開通に関するお問い合わせ	契約毎	WideAngle OsecT 開通サポートデスク SO センタ TEL/Mail	
料金に関するお問い合わせ先	契約毎	ビリングカスタマセンタ TEL/URL	
各種ドキュメント/工事・故障情報/FAQ	契約毎	サポートサイト URL	

\*2025 年 1 月以降に運用開始

- お申し込み時にお届けした機器に初期不良があった場合、代替機と併せて故障機返却のための返送キットを送付します。返送キットの内容物は以下の通りです。  
交換物品送付、故障物品返送のご案内  
返送対象物品リスト  
OsecT センサー一式返送用梱包箱

## 5.4. ご利用開始までの流れ

### 5.4.1.OsecT センサーの設置

- お申し込み後、通常開通希望日の 9 営業日前までに本サービスにて利用する機器類（OsecT センサー本体及び、USB ドングル、SIM カード）をお届けします。
- 機器をお受け取りいただいた後、通常開通希望日の 5 営業日前までにお客さまにて設置いただきます。
- 設置方法は下記 URL より「センサー設置手順書」をご確認ください。

<https://support.ntt.com/wideangle-osect/download/detail/pid2100001kck>

### 5.4.2.Web ポータル画面へのアクセス

- 本サービスが提供する Web ポータル画面は、開通案内（ご利用内容のご案内）に記載されている「OsecT Web-UI ログイン用 URL」よりアクセスいただけます。
- ログイン ID、パスワードにつきましても開通案内（ご利用内容のご案内）にてご案内いたします。
- ポータルにて提供される各機能の利用方法等は下記 URL より「ユーザーガイド」をご確認ください。

<https://support.ntt.com/wideangle-osect/download/detail/pid2100001kch>

## 5.5. サポートデスク

- 以下の受付窓口にて、お客さまからの以下のお問い合わせを受け付けます。

内容	受付窓口	連絡先	受付時間
OsecT 操作方法に関するお問い合わせ 故障、不具合のお問い合わせ	カスタマーサポートセンター	電話：03-6659-8324 メール：wa-osect-support@ml.ntt.com	平日（年末年始除く） 9:00～17:00
申込に関するお問い合わせ 開通に関するお問い合わせ	開通サポートデスク	電話：0120-711-488 メール：wa-osect-delivery@ntt.com	平日（年末年始除く） 9:00～17:00
料金に関するお問い合わせ	ビリングカスタマセンタ	電話：0120-047-128 Web： <a href="https://www.ntt.com/b-charge">https://www.ntt.com/b-charge</a>	平日（年末年始除く） 9:00～17:00

- お問い合わせには、次の情報が必要です。この情報が一致することをもって、正当な権限に基づくお問い合わせや申請であることを認証します。正当な権限のないお問い合わせや申請は受け付けられません。

認証に必要な情報	例	備考
お客さま番号（N 番）	N+数字 9 桁	開通案内のご案内に記載しています。
契約者名（会社名）	〇〇株式会社	お申し込みの契約者名（会社名）です。

## 5.6. 故障通知

### 5.6.1. 故障の定義

以下の事象が発生した場合を故障と定義します。

- OsecT ポータル画面で表示される情報の最終タイムスタンプが 4 時間以上更新されない。
- お客さま環境のログデータが OsecT センサーから当社のクラウド環境に転送されるまでに 1 分以上かかる状態が続く且つログの欠損が発生している。
- OsecT センサーへのシグネチャー配信が 1 日 1 回の頻度で更新されない。
- 当社のクラウド環境に取り込まれたデータから検知されたアラート情報が、5 分以上お客さまのメールアドレスへ通知することができない。

### 5.6.2. 故障時の通知

- サービスを構成するコンポーネントの何らかの故障により、上記 5.6.1 の故障の定義に該当する事象が発生時、複数ユーザー/全ユーザーに通知する場合は、サポートサイトに故障情報を掲載し、個別のユーザーに通知する場合は、お客さま（契約に関する連絡先メールアドレス）宛てのメールで通知します。
- 当社は故障発生の原因を解明するよう努め、お客さまのネットワーク内に原因があった場合は、お客さまに復旧作業の実施をお願いいたします。当社はログデータ転送正常性確認などのサポートを行います。

### 5.7. ハードウェア故障時の対応

- 提供場所への技術者派遣による OsecT センサーの故障対応は、当社が OsecT センサーのパーツを交換する必要があると判断したときに当社の負担により行うものとします。
- 前項の場合、OsecT センサーの故障対応は、当社又は当社が指定する第三者が持参するパーツ交換又は先出しセンドバックによる代替機交換により行うものとします。
- パーツ交換となった場合の駆付けリードタイムは以下となります。

No.	故障被疑箇所の特定・代替機送付の判断	駆付けリードタイムの目安
1	平日 16:00 まで	翌営業日 9:00～17:00
2	平日 16:00 以降	翌々営業日 9:00～17:00

- 先出しセンドバックによる代替機交換となった場合の発送リードタイムは以下となります。

No.	故障被疑箇所の特定・代替機送付の判断	お客さまへの発送の目安
1	平日 16:00 まで	翌営業日 9:00～17:00
2	平日 16:00 以降	翌々営業日 9:00～17:00

- 先出しセンドバック保守の代替機は弊社カスタマーサポートセンターから宅配便を利用した発送をいたします。北海道、四国、九州、沖縄本島を含め離島への代替機の発送は機器到着まで数日かかりますので予めご了承ください。また、天災、天候等の不測の事態が発生した場合は更に時間を要する場合がありますので予めご了承ください。
- USB ドングルの故障対応は、初期不良もしくは 1 年以内の自然故障の場合、当社より無償で代替機を配送するものとします。それ以外の場合、当該 USB ドングルの再購入となり、これにかかる費用は契約者の負担とするものとします。
- USB ドングルの代替機発送となった場合の発送リードタイムは以下となります。

No.	故障被疑箇所の特定・代替機送付の判断	お客さまへの発送の目安
1	平日 16:00 まで	翌営業日 9:00～17:00
2	平日 16:00 以降	翌々営業日 9:00～17:00



- USB ドングルの代替機は弊社カスタマーサポートセンターから宅配便を利用した発送をいたします。北海道、四国、九州、沖縄本島を含め離島への代替機の発送は機器到着まで数日かかりますので予めご了承ください。また、天災、天候等の不測の事態が発生した場合は更に時間を要する場合がありますので予めご了承ください。
- SIM カードの故障対応は、当社より代替の SIM カードを無償で配送するものとします。代替 SIM カードの配送リードタイムは以下となります。

No.	お客さまへの配送の目安
1	5 営業日内

## 5.8. メンテナンス

- サービスの品質を維持するために NTT コミュニケーションズが必要であると判断した場合に、OsecT サービス提供設備のメンテナンスを実施します。
- メンテナンス中は、OsecT の Web ポータルおよびサービスを提供できないことがあります。また、お客さま環境からのログ収集も一時中断される場合があります。
- メンテナンス中のログデータは分析対象となりません。
- メンテナンス実施後に完了通知は送信せず、メンテナンスの事前通知に工事期間の日時を記載します。

### 5.8.1. 計画メンテナンス

- OsecT サービス提供設備は毎週日曜日の 23:00 から翌月曜日の 6:00 (JST) をメンテナンス ウィンドウとします。
- 計画メンテナンスを実施する場合、通常 5 営業日前までにサポートサイトでお客さまに通知します。お客さまに個別の案内をお送りする必要がある場合は、この限りではありません。
- サービスに影響を及ぼさない、もしくはポータルへのアクセス断が 1 分程度以下かつログ収集やログ分析に影響を及ぼさない場合は、上記のメンテナンスウィンドウ以外の任意の時間帯で作業を実施する場合があります。

### 5.8.2. 緊急メンテナンス

- セキュリティやサービス継続上やむを得ない問題を解決するためにメンテナンス ウィンドウ外にもメンテナンスを実行することがあります。
- この場合、メンテナンスを開始する 2 時間前までにサポートサイトでお客さまに通知するよう努めます。セキュリティ上の理由などにより緊急を要する場合は、この限りではありません。

## 5.9. 請求方法

- 本サービスでは、単独のお客さま番号（N 番）を発行し、その N 番あてに請求します。
- 請求書はご利用開始の翌月より毎月発行されます。
- 利用料が 0 円の項目は表示されません。
- 税区分は、月額料金は合算、一括請求は個別の計算を行います。

### 例：請求書表示項目イメージ

利用期間：1 月 1 日～1 月 31 日

OsecT センサー初期費用×2 台分、OsecT 月額利用料×2 台分の請求の場合

ご利用料金内訳名	金額（円）	税区分	ご利用期間等のお知らせ
[WideAngle OsecT]			
基本サービス利用料	120,000	合算	1 月 1 日～1 月 31 日 2 台分のご利用料金です
初期費用	500,000	個別	2 台お申し込み分 個別に消費税相当額を算出しています
消費税等	***		

## 6. 重要事項・留意事項

### 6.1. 重要説明事項

重要事項を記載します。その他利用規約の内容を遵守いただきます。

#### 6.1.1. ライセンスについて

- 本サービスのライセンスはありません。

#### 6.1.2. 品質について

- 本サービスは、SLA（Service Level Agreement）を規定しません。

#### 6.1.3. アクセス回線について

- 本サービスで提供する Web ポータル機能を利用するためのインターネット回線については、お客さまにてご準備ください。Web ポータル アクセス回線にかかる費用（ISP 料金を含む）は、本サービスとは別に発生し、ご利用になった通信会社から利用料金が請求されます。
- OsecT センサーから当社のクラウド環境への通信において、サービスにバンドルした回線を利用します。

#### 6.1.4. 最低利用期間

- 最低利用期間はありません。なお、OsecT センサー、USB ドングルは売り切りとなります。

#### 6.1.5. 料金について

- 本サービスの料金は「利用規約 別紙 1 料金表」に記載します。
- 本サービスでは、OsecT センサーの設置時（新規設置、追加設置）に初期費用として一括料金が発生します。また初期費用とは別に、基本サービス利用料が月額費用として発生します。
- 利用規約に基づいて当社が契約者に本サービスの提供を開始した日から起算して、契約の解約があった日の当日までの期間（提供を開始した日と解約または廃止のあった日が同一の日である場合は 1 日間とします。）について利用料金を月単位で計算します。なお本サービスの提供を開始した日を含む料金月及び契約の解除があった日を含む料金月は、日割りで計算します。
- 利用料金の日割りは、料金月の日数により行います。契約内容の変更等により利用料金の額が増加又は減少したとき、増加又は減少後の利用料金は、その増加又は減少のあった日から適用します。

- お客さま都合により本サービス開通日までにご利用のご案内をお受取になれなかった場合は、本サービスの料金の返還はいたしません。
- お客さま都合により本サービスが規定する期日までにサービス提供に必要な機器のお受取・設置をいただけなかった場合、お客さまによるご利用開始前の状態でも料金が発生する場合があります、返還はいたしません。

#### 6.1.6. サービスの中止

- 当社は、災害・広域停電・インターネット障害・パンデミック等の事態が発生し、本サービスを提供することが困難になった場合、また当社設備の保守上、工事上又はサービス提供上やむを得ない場合は、本サービスの一部又は全部の提供を中止することがあります。

#### 6.1.7. 契約の成立

- 契約の成立は、お客さまからお申込を頂いた日をもって成立するものとさせていただきます。ただし、そのお申し込みに不備がある場合等、お承りできない事があります。また、お承りのご連絡は、ご利用開始時に通知する『ご案内』をもって代えさせていただきます。

#### 6.1.8. 契約の解除

- お客さまが本サービスの利用規約に違反した場合、当社は利用規約に従い、本サービスの全部又は一部を解除することがあります。この解除によってお客さま等に損害が発生しても、当社は責任を負わないものとします。

#### 6.1.9. 免責事項

- 当社は、本サービスの内容について、正確性、実現性、完全性、確実性、有用性、特定目的適合性、有効性等を保証するものではないことを了承し、契約者の責において本サービスを利用するものとします。
- 本サービス提供に関する設備、機器等の故障、トラブル、停電、通信回線の異常ならびにシステム障害等の当社の予想を超えた事態により、本サービスの利用不可、お客さまに関するデータの消失等の事態が発生することがありますが、これによりお客さまに発生した損害につき、当社は一切責任を負わないものとします。
- 契約者が本サービスを利用するにあたり、当社が提供する設備、機器、端末等の改造又は変更（以下、この条において「改造等」といいます。）を要する場合であっても、その改造等に要する費用については負担しません。

- 本サービス内で提供する各種推奨事項の実行はお客様の判断・責任において行われるものとします。
- 本サービスは日本国外の地域で利用することについて何ら保証を行わず、契約者又は契約者のエンドユーザーによる日本国外の地域での利用によって生じたいかなる損害についても当社は責任を負いません。

#### 6.1.10. サービスの廃止

- 当社は本サービスの利用規約に従い、当社の判断で本サービスの全部又は一部の提供を停止することがあります。この停止によってお客様等に損害が発生しても、当社は責任を負わないものとします。
- 当社は本サービスの利用規約に従い、当社の都合により本サービスの全部又は一部を廃止することがあります。この廃止によってお客様等に損害が発生しても、当社は責任を負わないものとします。

### 6.2. 留意事項

#### 6.2.1. ご利用について

- 本サービスでは、ネットワーク機器のミラーポートから取得したトラフィックに基づいて学習を行い、脅威・脆弱性の検知を行いますが、脅威情報の検出については全ての脅威・脆弱性を検出することを保証するものではありません。
- 本資料で記載の分析手法・項目については攻撃手法や外部環境の変化、技術的要因、効率性の改善等の理由により変更する場合があります。同様に情報源、モニタリング対象についても NTT コミュニケーションズの判断によって変更する場合があります。
- 本サービスで実施する分析手法や情報源は原則開示しません。
- 本サービスにおける脅威、脆弱性の検知・分析手法については、不正行為の手法や外部環境の変化、技術的要因、効率性の改善等の理由により変更する場合があります。
- 各分析結果は状況に関して保証や意見表明などを行うものではありません。
- 本サービスの提供の中で発生した著作物に関する著作権は NTT コミュニケーションズに帰属します。
- 本サービスでは、OsecT センサーを、以下に定める規則等及び当社のサービスサイト (<https://sdpf.ntt.com>) に掲載する技術基準に適合するよう維持していただきます。

- (a) 端末設備等規則（昭和 60 年郵政省令第 31 号）
- (b) 無線設備規則（昭和 25 年電波監理委員会規則第 18 号）
- (c) 当社が別に定める端末設備等の接続の技術的要件

#### 6.2.2. 注意事項について

- 送付物は OsecT センサー、SIM カード、USB ドングルがお客様指定の送付先へ送られますので、お客様にて機器の設置・管理を行ってください。
- OsecT センサー、SIM カード、USB ドングルの全てがお客様送付先へ開通希望日の 9 営業日前までに届かなかった場合は、開通希望日 + 配送遅延日数を開通日とします。
- 開通案内をダウンロードする際のパスワードは、お申し込み時にお客様より記載いただいたものを使用するため、当社から通知はいたしません。パスワードをお忘れの場合は本サービスのサポートデスクまでお問い合わせください。
- 同業者様からのお申し込みはお断りすることがあります。あらかじめご了承ください。

## 改訂履歴

バージョン	主な変更	日付
1.00	新規作成	2022 年 4 月 25 日
1.10	「5.4.ご利用開始までの流れ」を追加	2022 年 6 月 28 日
1.20	「3.4.提供条件」にデータ通信量、ID 管理に関する条件を追加 「3.7.機器諸元」のハードウェアスペック情報を更新 「5.3.開通案内・配布同梱物」の開通案内の記載内容を変更 「5.4.ご利用開始までの流れ」の内容を変更 「5.5.サポートデスク」の受付窓口の名称を変更 「5.8.1.計画メンテナンス」に通知方法についての説明を追加	2022 年 12 月 1 日
1.30	「3.5.提供機能」の内容を更新	2022 年 12 月 20 日
2.00	「3.3.提供メニュー」に新機能及びシステム設定に関する内容を追加 「3.4.3.分析に関する条件」の接続端末上限数および OsecT センサーの性能上限に関する内容を更新 「3.4.5.OsecT センサー監視に関する条件」を新たに追加 「3.5.提供機能」の内容を追加・機能名修正・イメージ画像更新 「3.5.3.システム設定」を新たに追加 「3.5.4.対応 OT プロトコル」を新たに追加 「5.5.サポートデスク」の連絡先・受付時間の情報を更新 「5.6.1.故障の定義」のメール通知に関する故障についての記載内容を更新 「5.7.ハードウェア故障時の対応」の故障被疑箇所の特定・代替機送付の判断および対応リードタイムの情報を更新 「5.8.1.計画メンテナンス」にメンテナンスウィンドウ以外の時間帯で実施される可能性がある作業についての記載を追加	2023 年 6 月 23 日
2.50	「3.5.2. 脅威/脆弱性 検知」の OT 振る舞いに関する誤記	2023 年 11 月 13 日
2.51	申込書・開通案内の最新版に合わせて文言修正 （契約番号⇒お客さま番号、お申込みプラン⇒契約プラン、お申込みプラン⇒ご契約プラン） ・ 5-1-2 申込書 ・ 5-3 開通案内・配布同梱物 ・ 5-5 サポートデスク ・ 5-9 請求方法	2023 年 12 月 25 日

2.90	<p>文書名変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1.2.関連文書</li> </ul> <p>ログが 300 万件/日まで取り込めるように性能改善を実施したことに伴う文言修正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3.4.3.分析に関する条件</li> </ul> <p>社内向けサービス仕様書に合わせて文言変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3.5.1.資産/ネットワーク 可視化 1-2.一覧 (IP)</li> </ul> <p>OS のパケット種別毎の信頼度の変更に伴う文言変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3.5.1.資産/ネットワーク 可視化 1-5.OS マトリクス</li> </ul> <p>機能名・詳細説明の誤表記および並び順が Web ポータルと異なることに伴う文言修正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3.5.2.脅威/脆弱性 検知</li> </ul> <p>表記ゆれ修正、誤表記修正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3.5.4.対応 OT プロトコル</li> </ul> <p>センサー端末の OS バージョン変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3.7 機器諸元</li> </ul> <p>対応する OT プロトコル追加に伴う文言追記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3.5.4.対応 OT プロトコル</li> </ul> <p>文書名変更に伴う文言変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5.4.2.Web ポータル画面へのアクセス</li> </ul> <p>体制変更に伴う文言変更および連絡先(電話番号やメールアドレス)の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5.5.サポートデスク</li> <li>・ 5.7.ハードウェア故障時の対応</li> </ul>	2024 年 3 月 28 日
3.00	<p>文書名を実際に格納されているドキュメント名に合わせ変更</p> <p>※版数や日付は記載しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1.2.関連文書</li> </ul> <p>台帳機能を追記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3.3.提供メニュー</li> </ul> <p>コネクション数を日単位から分単位記載に変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3.4.3.分析に関する条件</li> </ul> <p>表に台帳機能を追記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3.5.1.資産/ネットワーク 可視化</li> </ul> <p>図の差し替え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2.サービス概要</li> <li>・ 3.5.1.資産/ネットワーク 可視化</li> <li>・ 3.5.2.脅威/脆弱性 検知</li> </ul>	2024 年 9 月 5 日



	<p>メンテナンス実施後の完了通知についての注意書きを追記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5.8.メンテナンス</li> </ul> <p>文言変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6.1.9.免責事項</li> </ul>	
3.10	<p>文書名を実際に格納されているドキュメント名に合わせ変更</p> <p>※版数や日付は記載しない</p> <p>サービス名称変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1.2.関連文書</li> </ul> <p>サービス名称変更に伴いドキュメント名の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3.2.提供区分</li> </ul> <p>図の差し替え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3.3.提供メニュー</li> </ul> <p>レポート機能を追記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3.4.3.分析に関する条件</li> </ul> <p>禁止事項を追記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3.5.1.資産/ネットワーク 可視化</li> </ul> <p>資産台帳の編集を追記</p> <p>図の差し替え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3.5.2.脅威/脆弱性 検知</li> </ul> <p>新規端末から接続端末に文言変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2-10.AMF-SEC を追記</li> <li>・ 3.5.3.アセスメントレポートの章を追加</li> <li>・ 5.1.2. 申込書</li> </ul> <p>商品情報を追記</p> <p>5.3.開通案内・配布同梱物</p> <p>商品情報を追記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5.5.サポートデスク</li> </ul> <p>カスタマーサポートセンターの電話番号変更</p>	2024 年 12 月 25 日